



「ふくしま絆ふれあい支援事業ふくしまを十七字で奏でよう」表彰

今年度は「想いを繋ぎ 想いを届ける 十七字」のキャッチフレーズの下、「絆部門」「ふるさと部門」の2部門で作品を募集しました。県中域内では絆部門では、5,322組、ふるさと部門では、2,085組、合わせて7,407組の方々からご応募いただきました。

9月27日に行われた県中域内第一次選考会では、福島県公立学校退職校長会県中域内各支部より20名の皆様を選考委員として、絆部門より262組、ふるさと部門より102組の優良作品を選定していただき、県の第二次選考会へ送ることができました。第二次選考会を経て、県中域内からは19組の優秀な作品が最終選考会へと選出されました。11月8日の最終選考会の結果、県中域内から優秀賞に1組、佳作に5組の計6組が入賞しました。また、県中教育事務所表彰として、学校賞31校と個人奨励賞13組を選出しました。おめでとうございます。

寄せられた多くの作品には、家族や友達、地域の方など身近な人たちとの何気ない日常の会話、感謝の気持ちや改めて感じた相手への思い、おもわず笑顔になってしまうような温かいふれあい、また、ふくしまの自然が織りなす風景や食べもの、ふるさと「ふくしま」の復興への願いなどが五・七・五の十七文字に込められていました。

毎年、夏季休業開けの募集時期となりますが、学校行事や教育活動の一環に活用したり、四季折々に合わせた季節感溢れる作品を創作したりして、**年間を通した作品づくり**をしてみたいかがでしょうか。その作品を取り置いていただき、次年度ぜひご応募ください。たくさんの作品をお待ちしております。

絆部門優秀賞

点を決め 見つめる母に ガッツポーズ
郡山第一中学校 一年 熊田 一湧
ファンシー号 メガホン片手に 声枯らす
母 熊田めぐみ

県佳作、奨励賞の各受賞作品や学校賞は、県中教育事務所HPでご覧いただけます。また、第一次選考会にて通過した作品を作品集にしました。関係機関に配布しましたので、そちらもご覧ください。



＜表彰式：所長から熊田さんへ＞

家庭教育応援リーダー育成事業「県中域内家庭教育支援者研修会」

家庭教育支援者を養成・育成する研修を郡山女子大学家政学部生活科学科教授の小林徹様を講師にお迎えして実施しました。講話では「**つながる つなげる コミュニケーション**」と題して、家庭教育支援推進のためには、地域・家庭・学校が、また支援者同士がつながっていくことの重要性や大変さについて、体験エピソードを交えながらお話しいただきました。障害児を持つ親の気持ちに寄り添うことの大切さや困難さ、また支援する側の体制の問題点など、学びを得た時間でした。

「どうしたらいいのかな。つながってみようかな。つなげてみようかな。よしつながってみる、つながっちゃった。本当につながったのかなあ、やっぱりつながってる。」ということの繰り返しだと思う。それらの経験をみんなが共有し、見つけていく。きっと魅力的なものになるはずだ。

～参加者の声～

- ・一緒に取り組める事を考え、継続を途絶えさせないようにすることが大事だと感じた。
- ・連携を実現するために「つながってみようかな」を大切にするといいところが心に残った。型にはめるのではなくフランクなつながりが深いつながりへのステップの一歩だと思った。
- ・特別支援の子どもたちとそれに関わる保護者の気持ちが分かった。つながる、つなげるという事はとても大変だと思った。母親とのコミュニケーションも大切だと思った。



「令和6年度福島県教育・文化関係表彰(功績顕著な団体)受賞」

～野木沢小学校 PTA～

令和6年度福島県教育・文化関係表彰(功績顕著な団体)を受賞した「野木沢小学校 PTA」の取り組みについて紹介します。野木沢小学校は、全校児童37名と急激に児童数が減少していますが、保護者や地域の方々の教育活動への関心は非常に高く、よりよい教育環境や学校教育活動を具現するためにサポートを惜しまない『野木沢愛』に溢れていて、その取組は、児童一人一人の健やかな成長につながっています。会員一人一人が、『子どものため、学校のため、地域のために』という意識や責任、連帯感をもって取り組んでいる姿は、野木沢小学校の伝統であり、よき文化にもなっています。

～保護者と児童及び保護者同士のつながりを深めるための諸活動～

○家読

毎週水曜日を「家読・ノーマディアの日」と位置づけ、親子で読書する「家読」に全家庭で取り組んでいます。この「家読」の活動を通して、家庭内のコミュニケーションを図り、家族の絆づくりや児童のよりよい読書環境づくりに繋がっています。

○OPTA 親子行事

学年行事の他に、全員が一堂に会するPTA 親子行事を開催しています。種目については、執行部が主体的に協議し、毎年趣向を凝らしています。親子や保護者同士のコミュニケーションを深める場となっており、保護者と児童が一緒になって活動する楽しさを十分に味わわせることができます。



○奉仕作業

校地内の除草作業では、保護者のみならず、自主的に児童も参加しています。会員や児童数の割には敷地面積が広いので、自治センターや区長会等の地域の方の積極的な協力を得て、環境整備の充実を図ることができています。主体的に取り組む保護者や地域住民の姿は、児童のよい手本となっています。



～児童と地域のつながりを深めるための諸活動～

○給食試食会

給食の食材を提供してくださっている地域の生産者をお招きし、給食試食会を行っています。日頃の感謝の気持ちを伝え、生産者からも温かい励ましの言葉をいただく等して、食育を通して地域の方との交流を深めています。

○創立150周年記念事業

記念事業に向けた保護者の方の学校への関心は高く、PTA 執行部の発案で、令和5年度の執行部デザインによる「野木沢小学校150周年記念Tシャツ」を製作しました。この記念Tシャツは、学校行事のみならず、野木沢地区主催の防犯・交通安全鼓笛パレード等においても着用し、学校の伝統、教育活動の様子や子どもたちの元気を地域の方へ発信するよい機会となりました。執行部の主体的な運営と支援により、児童の愛校心を育むことができたと同時に、学校を核とした保護者、地域の連帯感や一体感を再醸成することができました。

家庭教育応援企業代表者の皆様へ

家庭教育を充実させるためには、家庭や地域だけでなく地元企業の家庭教育への理解や積極的な参加がますます求められています。そこで、各社の素晴らしい活動の様子をHPや企業通信等で広く紹介し、効果的な取組等を共有することで家庭教育の充実を目指していきたいと考えています。「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」等、企業での工夫やアイデアも募集しています。ぜひ、活動報告書にてお知らせください。

日程を教えていただければ取材にも伺います！

